

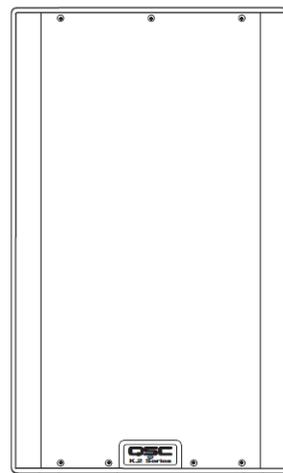
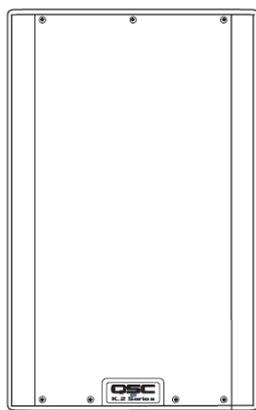
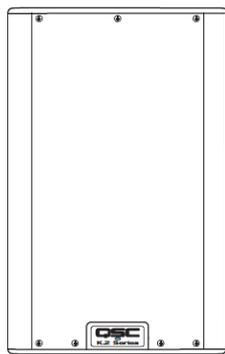
K.2 Series

QSC[®]

User Manual

Version 1.0

K8.2, K10.2, K12.2



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

記号の説明

「警告！」は、身体の安全に関わる記号です。指示が守られない場合、傷害に至る危険性がありますのでご注意ください。

「注意！」は、物理的機器の損傷についての記号です。指示に従わずに生じた不具合については、保証の対象外となる場合があります。

「重要！」は、製品を正しく使用するために必要不可欠な指示や情報を示しています。

「注」は、追加の大切な情報を示しています。



このマークは、危険をユーザーに警告しています。製品内の電圧により、感電の危険性があります。



注意：このマークは、安全にご使用いただくための注意喚起を示します。

安全上の重要事項



警告！：火災や感電を防止するために、本体を雨や湿気にさらさないでください。

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中に入れてください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、アース付きプラグを使用してください。プラグのブレードは一方が幅広になっています。アース付きプラグには、2つのブレードとアースピン（グラウンド）が付いています。幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。プラグが上手く挿さらない場合、技術者にコンセントの差し込み口を確認して貰う事をお勧めします。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源ケーブル等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店に連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れが有ります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。

11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、差し込むだけで使用できます。
15. 地域の法律に沿ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

最新の電子技術と素材を使用した製品のため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理はQSCの代理店にて行ってください。

注意：この製品はFCC規則第15部に準拠しており、Class B digital deviceに認定されています。

本製品を使用すると高周波を発信する場合があります。設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

RoHS 対応

本製品はRoHSに対応しています。

目次

記号の説明	2
安全上の重要事項.....	2
メンテナンスと修理.....	3
RoHS 対応	3
詳細仕様	5
各部の名称.....	6
アプリケーション	7
設置	8
吊り下げ（サスペンション）	9
設置場所	9
電源	10
ブロックダイアグラム	11
入力	12
出力	15
基本操作	16
接続	20
寸法	22

詳細仕様

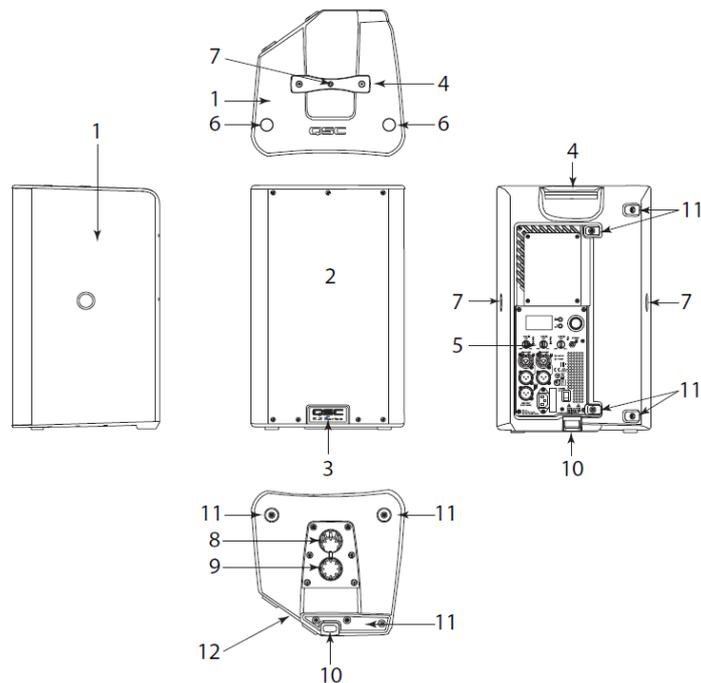
	K8.2	K10.2	K12.2
構成	2way パワードスピーカー		
LFトランスデューサー	8 インチ(203mm) コーン	10 インチ(254mm) コーン	12 インチ(305mm) コーン
HFトランスデューサー	1.4 インチ(35.6mm) チタン・ダイアフラム・コンプレッションドライバ		
周波数特性(-6dB)	59Hz - 20kHz	56Hz - 20kHz	50Hz - 20kHz
周波数特性(-10dB)	55Hz - 20kHz	50Hz - 20kHz	45Hz - 20kHz
公称カバレッジ角	105 度	90 度	75 度
最大音圧レベル	128dB	130dB	132dB
アンプ	クラス D、ピーク出力: 1800W(LF)、225W(HF)		
冷却	静音、可変スピード式ファン		
コントロール	電源 レベルコントロール×3 機能選択ボタン×2		
インジケータ	モノクロ LCD ディスプレイ(45mm×25.4mm) 電源(フロント・リア) 入力信号×3 入力 A: MIC 入力 B: HI-Z リミッター・アクティブ		
コネクタ	コンボ(ロック付)×2(MIC/ライン入力+HI-Z/ライン入力) 3.5mm ステレオミニ入力×1 XLR/オス(ループ/スルー出力)×2 XLR/オス(ミックス出力)×1 電源コネクタ(IEC タイプロック付)×1		
電源	AC100V、50 - 60Hz		
消費電力	100W、2.1A		
エンクロージャー材質	ABS(耐衝撃)樹脂		
サスペンション・ポイント	M10×2、固定リング		
色	黒		
グリル	12 ゲージ・パウダーコーティング・スチール		
寸法(H×W×D)	449×280×269mm	519×320×300mm	602×356×350mm
質量	12.2kg	14.5kg	17.7kg

重量	14.4kg	17.6kg	21.7kg
安全規格	CE、WEEE、UL、China RoHS、RoHS、FCC Class B		
オプション	K8 Tote K8 Outdoor Cover M10 Kit-C K8.2 Yoke	K10 Tote K10 Outdoor Cover M10 Kit-C K10 Yoke	K12 Tote K12 Outdoor Cover K10 Kit-C K12.2 Yoke

各部の名称

K8.2、K10.2、K12.2 共通

1. エンクロージャー
2. スチールグリル
3. フロントパワーLED
4. ハンドル
5. パワーモジュール
6. サスペンション・ポイント (M10)
7. ヨーク取付けポイント (M8)
8. 7.5度チルト取付ソケット (35mm)
9. 垂直取付ソケット
10. 固定リング
11. 滑り止めゴム足



アプリケーション

K.2 シリーズはエンターテインメントや司会など、様々な用途に使用できる、ポータブルオーディオ向けに設計されたパワードスピーカーです。各ユーザーが使用しているフルレンジオーディオとの相性も抜群。単体、ステレオペア、ディレイシステムなどに使用できます。また、メインシステム、フロアモニター（図4）どちらも素晴らしいサウンドを提供することができます。

3つのモデルにはポールマウント用 35mm ソケットが 2つ装備されていて、スピーカースタンドまたはサブウーハー上に取り付けることができます。2つのソケットの内、1つは垂直マウント、もう1つはチルトマウント（7.5度）用です。（図5参照）

さらに、M10 サスペンション・ポイントとアイボルト、固定リングを使用して吊り下げる他、ヨーク（K8.2 YOKE、K10.2 YOKE、K12.2 YOKE）により縦、または横向きで固定し、設置することもできます。（図6、7参照）

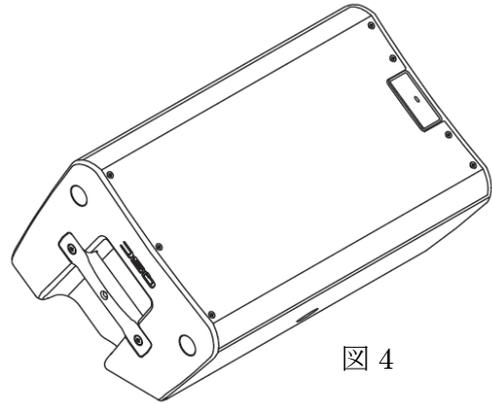


図4

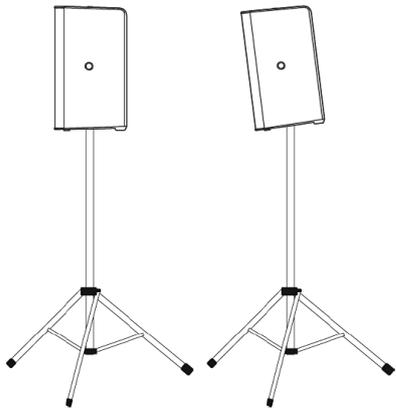


図5

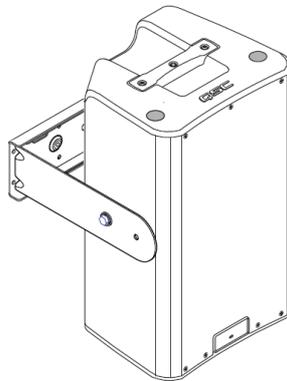


図6

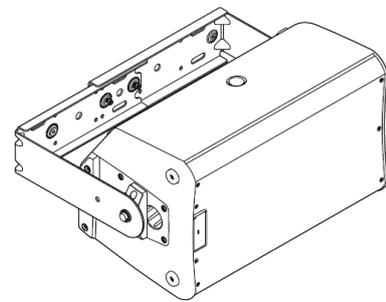


図7

設置



注意：本スピーカーを設置する前に使用するハードウェア、吊り金具、キャビネット、トランスデューサー、ブラケット、アクセサリなどを点検してください。腐食、変形、定格以下の部品の使用は設置強度低下を起し、安全性に大きく影響を与えます。たとえ短期間で、過負荷がかかることが予想されなくとも、必ず設置条件に合致する部品を使用してください。

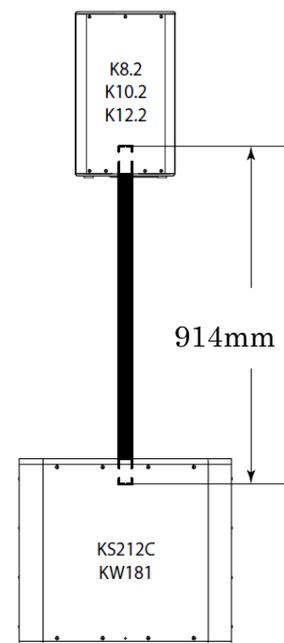
ハードウェアや機材の定格を超える負荷が加わることがないようにしてください。

スピーカーの設置に関しては専門の工事業者に依頼してください。国及び各地方自治体の安全基準に従って設置してください。



注意：設置用ポールは下記の長さを超えないようにしてください。

K.2 シリーズ	サブウーハー		
	KS212C	KW181	KSUB
K8.2	914mm	914mm	787mm
K10.2	914mm	914mm	724mm
K12.2	914mm	914mm	673mm



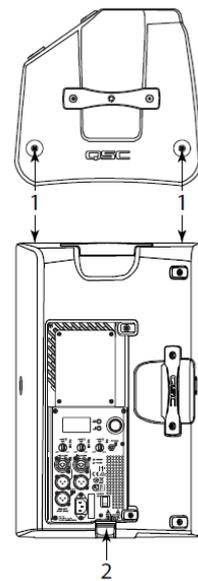
吊り下げ（サスペンション）

K.2 シリーズは M10 スペンション・ポイントとアイボルト、固定リングを使用して吊り下げることができます。サスペンション・ポイントには工場出荷時に柔らかいカバーがはめ込んであります。スピーカーを吊るときはアクセサリキット M10 Kit-C を使用します。



注意：サスペンション・ポイントとアイボルトはしっかりと締められていることを確認してください。

- a. M10 サスペンション・ポイント
- b. 固定リング



設置場所

本機にはパワーアンプが搭載されており、内部温度が上昇します。本体の冷却効率を高めるため、キャビネットの後側から壁まで最低 150mm 以上離して設置し、空気の流れを妨げるものを置かないでください。

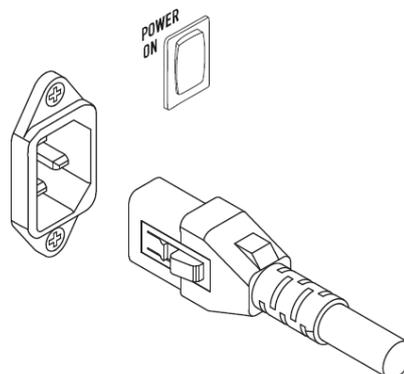


注意：スピーカー本体は直射日光を避けて設置してください。直射日光により本体内部温度が上昇し、出力が低下する場合があります。最大使用環境温度は 50°C です。水には大変弱いため、雨などがかからないよう十分ご注意ください。

電源

電源コード

1. 電源コードをアンプ背面パネルの電源コネクタに差し込んでください。
2. 電源スイッチが **Off** になっていることを確認してから電源コードをコンセントに差し込みます。



付属の V-LOCK 電源コード（青色）は外れないようにラッチ機能があります。

電源コードを抜く際には、電源スイッチを **Off** にします。電源コードをコンセントから外してから黄色のラッチボタンを押して抜きます。

付属の電源ケーブルは本機専用ケーブルです。他の機器では使用しないでください。

電源スイッチ LED

電源を入れると青色電源 LED が点灯します。

※電源スイッチを入れても電源 LED が点灯しない場合、電源コードが正しく接続されているか確認してください。

電源 On/Off 手順

電源 On/Off の手順を守ることでスピーカからノイズが出るのを防ぐことができます。常にスピーカの電源は最後に **On**、最初に **Off** のルールを守ってください。

電源 On 手順

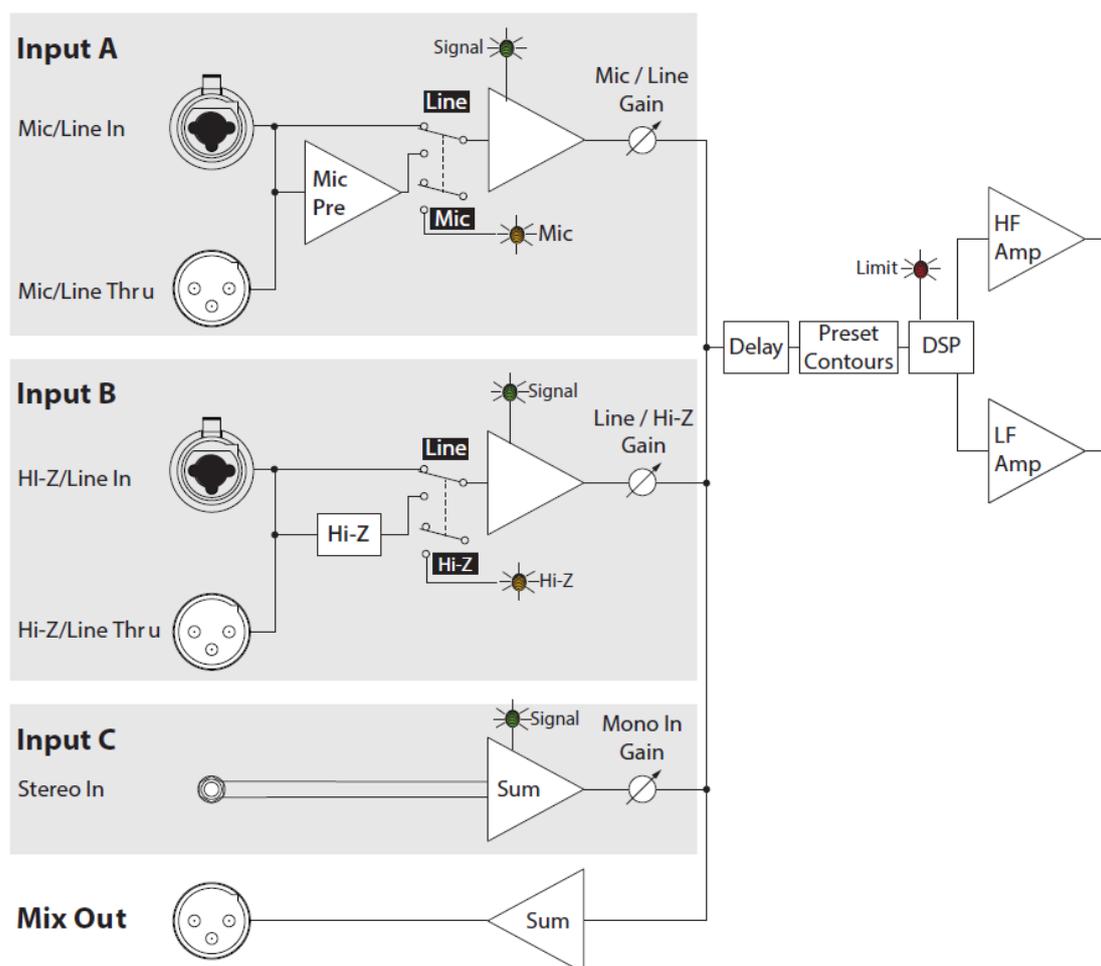
1. CD プレーヤー、ミキサー、楽器などのボリュームが最小になるように各つまみをセットしてください。
2. 各音源機器の電源を入れてください。
3. サブウーハーの電源を入れてください。
4. K.2 シリーズの電源を入れてください。
5. 各音源のボリュームをセットしてください。

電源 Off 手順

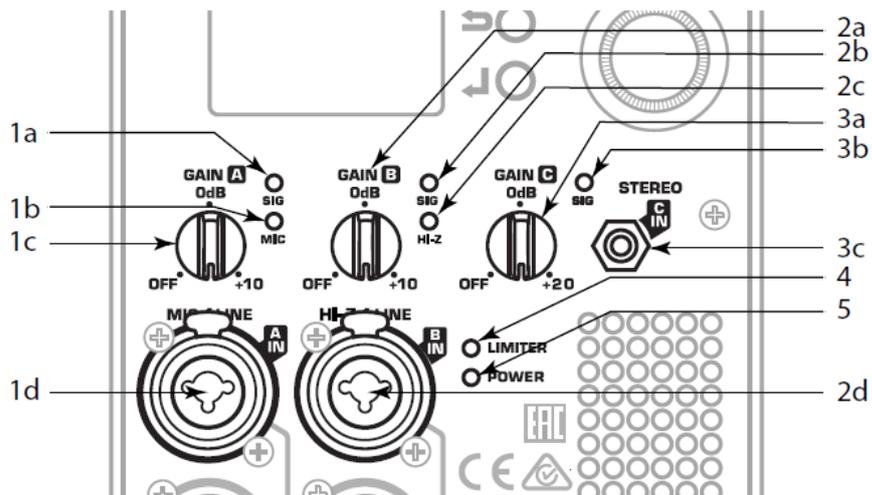
1. K.2 シリーズの電源を切ってください。
2. サブウーハーの電源を切ってください。
3. 各音源の電源を切ってください。

※K.2 シリーズを連結して使用している場合、連結元の電源を先に入れてから供給先の電源を入れてください。電源を切るときは供給先の電源を先に切ってから連結元の電源を切ってください。

ブロックダイアグラム



入力



K.2 シリーズはコンボ端子 (XLR/フォン) x 2 と 3.5mm ステレオミニ端子 x 1 を搭載しています。

1. 入力 A

- a SIG LED (緑)
入力信号があるときに点灯します。
- b MIC LED (黄)
ディスプレイ・メニューからマイクが選択されたときに点灯、ラインが選択されたときに消灯します。
※ファンタム電源は供給されません。
- c GAIN ノブ
入力 A のゲインを調整します。
- d コンボ端子 (XLR/フォン)
ライン/マイクレベルを切り替えて使用します。

2. 入力 B

- a GAIN ノブ入力
入力 B のゲインを調整します。

b SIG LED (緑)

入力信号があるときに点灯します。

c HI-Z LED (黄)

ディスプレイのメニューから楽器などのハイ・インピーダンス入力信号を選択したときに点灯、ラインが選択されたときに消灯します。

d コンボ端子 (XLR/フォン)

ディスプレイのメニューからライン/HI-Z レベルを切り替えて使用します。

3. 入力 C

a GAIN ノブ入力

入力 C のゲインを調整します。

b SIG LED (緑)

入力信号があるときに点灯します。

c 3.5mm ステレオミニ端子

ラインレベルステレオ入力。ステレオ信号はモノラルに変換されます。

4. LIMITER LED (赤)

アンプやスピーカーを保護するため、搭載されたリミッターが働いたとき点灯します。周波数に拘わらず信号レベルが高すぎる、アンプの温度が上昇したときなど、このリミッターが働き、LED が点灯します。

5. POWER LED (青)

電源スイッチを **On** にして電源が投入されたとき点灯します。



注意：全ての入力に対するゲインコントロールを **0dB** に設定すると、**MIX OUT (POST GAIN)** の出力は入力信号と同じレベルになります。スピーカーを連結し、マスタースピーカーと同じレベルの信号をスレーブスピーカーで再生しようとする場合、スレーブスピーカーのゲインコントロールは **0dB** に設定してください。

バランス接続

XLR プラグは図 13 にように接続してください。

1. **シールド (アース)**
2. **+** プラス
3. **-** マイナス

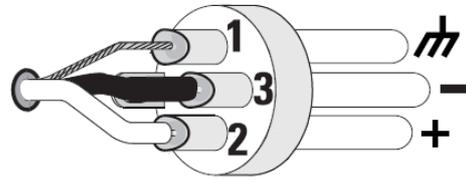


図 13

フォンプラグ (TRS) は図 14 のように接続してください

1. **シールド (アース)**
2. **-** マイナス
3. **+** プラス

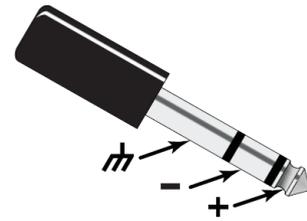


図 14

アンバランス接続

XLR プラグは図 13 にように接続してください。

1. **シールド (アース)**
2. **+** プラス
3. **-** マイナス

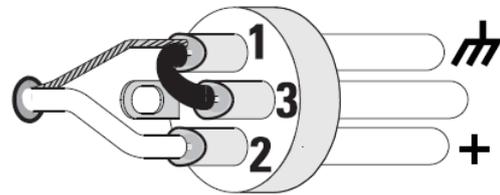


図 15

フォンプラグ (TRS、TS) は図 16 のように接続してください。

1. **シールド (アース)**
2. **-** マイナス
3. **+** プラス

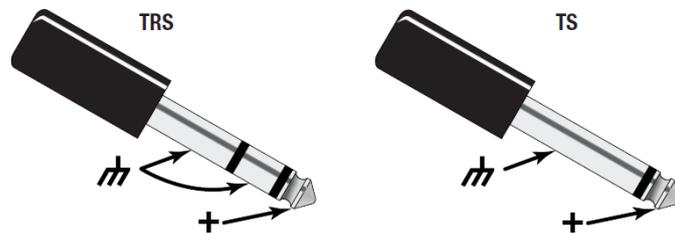


図 16

出力

1. チャンネル B スルー出力コネクタ。

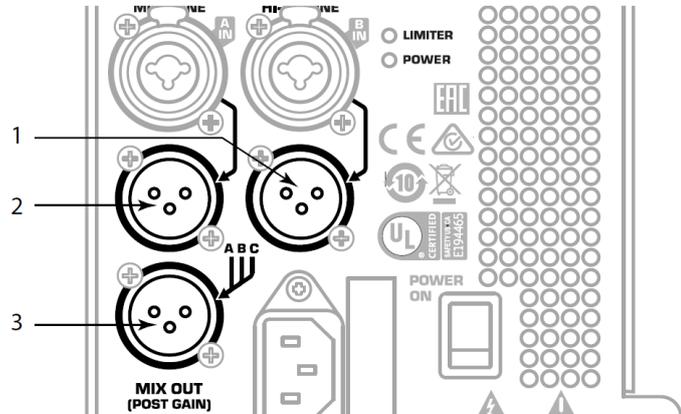
チャンネル B の入力信号が平行に接続されています。スピーカーを連結して使用する場合や他のオーディオ機器に接続するときに使用します。

2. チャンネル A スルー出力コネクタ。

チャンネル A の入力信号が平行に接続されています。スピーカーを連結して使用する場合や他のオーディオ機器に接続するときに使用します。

3. MIX OUT (Post Gain) 出力

チャンネル A、B、C のミックス信号です。各チャンネルの出力はゲインコントロールにより変わります。この信号は DSP プロセッシングによる音色の変更を含んでいません。



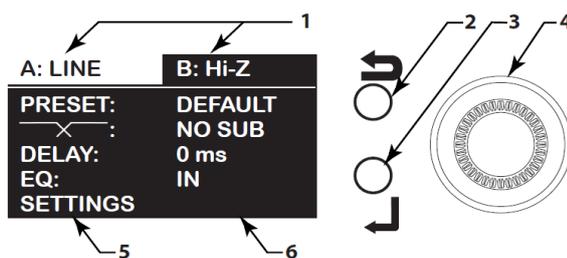
注意：MIX OUT (Post Gain) 出力を同じスピーカーの入力端子に接続しないでください。

基本操作

K.2 シリーズにはプリセット、シーン、クロスオーバー、EQ、ディレイ、周波数コントロールなどを設定するディスプレイが搭載されています。

1. ホーム

入力タイプ (MIC、LINE、HI-Z) を選択します。選択された項目は白バックグラウンド、黒文字で表示されます。



2. Exit

前の画面に戻ります。

3. Enter

選択したパラメーターの確認、選択したメニューを開きます。

4. Selector ノブ

他のメニューに移動、選択したパラメーターを変更します。

5. パラメーター名を表示します。

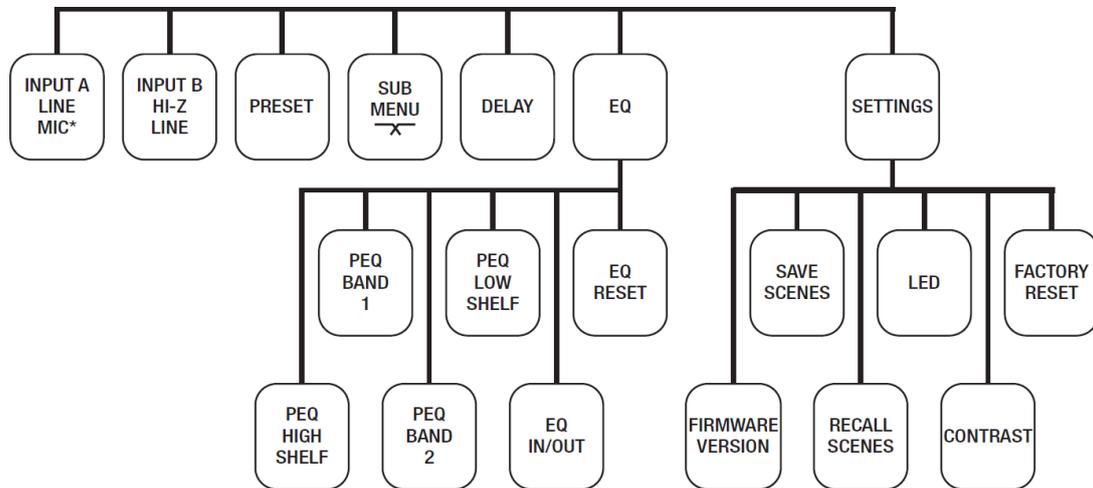
6. パラメーターの値を表示します。

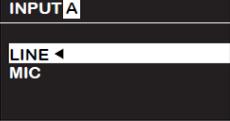
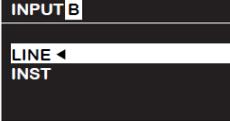
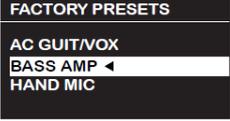
操作手順

プリセット選択

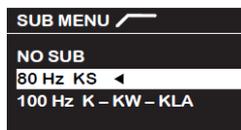
1. ノブ (4) を時計方向に回し PRESET にカーソルを合わせます。
2. Enter (3) を押し PRESET のサブメニューを表示します。
3. ノブ (4) を回し設定したい PRESET を表示します。
4. Enter (3) を押して確定します。
5. Exit (2) を押してホームに戻ります。

メニューリスト



INPUT A : 入力 A の感度を選択	
LINE	 <p>ミキサーなどラインレベル信号を接続</p>
MIC	 <p>マイクなどマイクレベル信号を接続</p>
INPUT B : 入力 B の感度とインピーダンスを選択	
LINE	 <p>ミキサーなどラインレベル信号を接続</p>
INST	 <p>パッシブピックアップを持つ楽器などを接続</p>
FACTORY PRESETS : 用途別プリセットを選択	
	 <p>ノブを使用してプリセットを選択</p>
DEFAULT : ベーシック・ボイス	
LIVE : ライブ向けの明瞭なサウンド (特にボーカル)	

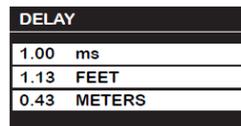
LIVE BRIGHT : 高域のブースト。サブウーハーとのバランスを重視
DANCE : 高域と低域を強調
STAGE MONITOR1 : ステージモニター向け。ステージの余分な低域をカット
STAGE MONITOR2 : ステージモニター向け。低域はそのまま再生
AC GUIT/VOX : アコースティックギター/ボーカル
BASS AMP : ベースアンプ向け
HAND MIC : スピーチ向け明瞭なサウンド。ハンドヘルドマイクのフィードバックを低減
HEAD MIC : スピーチ向け明瞭なサウンド。ヘッドセットマイクのフィードバックを低減
STUDIO MON : レコーディングモニター向け
SUB MENU : サブウーハーとトップボックスとのマッチングを設定



80Hz KS ハイパスフィルターを選択

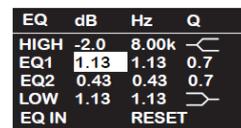
※クロスオーバーは同じフェーズを共有。タイムアライメントのみサブウーハーとトップボックスの実際の距離を補正

NO SUB : サブウーハー未使用
80Hz KS : 80Hz ハイパスフィルター (HPF) を付加
100Hz K-KW-KLA : 100Hz ハイパスフィルター (K、KW、KLA シリーズ)
125Hz : 125H ハイパスフィルターを付加
DELAY : リアフィルまたは同様の用途向けデレイ調整



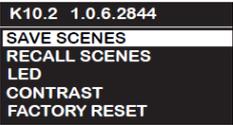
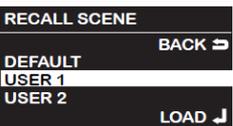
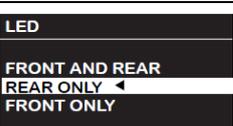
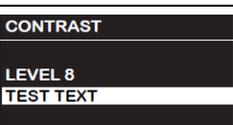
0 - 100 ms、0 - 113 FEET、0 - 34 METERS

EQ : 4 バンド、パラメトリック・イコライザー



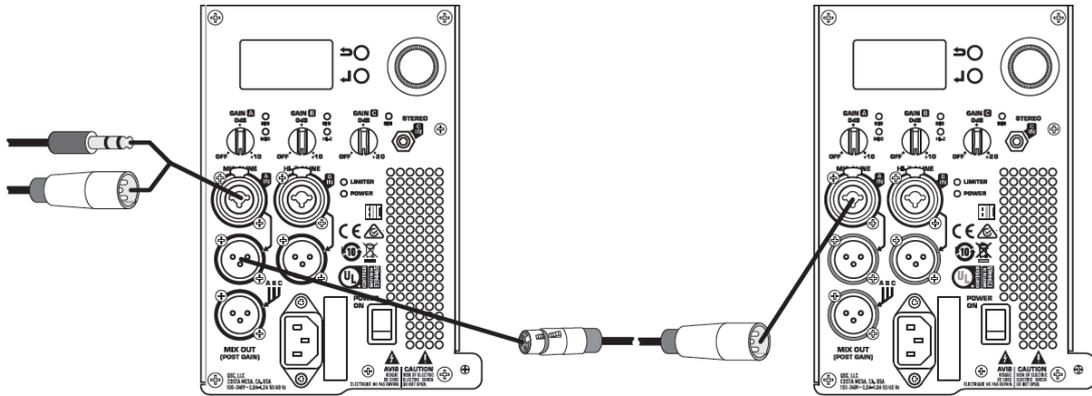
変更したいパラメーターを選択し「ENTER」を押します。数値を変更して「ENTER」を押すか「EXIT」を押して変更せずにメインメニューに戻ります

	dB	Hz	Q
ハイ・シェルビング・バンド	0.0 dB~-6.0 dB	1.0 kHz~10.0 kHz	N/A
初期値	0.0 dB	8.0 kHz	
EQ1 (バンド 1)	0.0 dB~-6.0 dB	50 Hz~20.0 kHz	0.4~4.0
初期値	0.0 dB	1.0 kHz	0.7

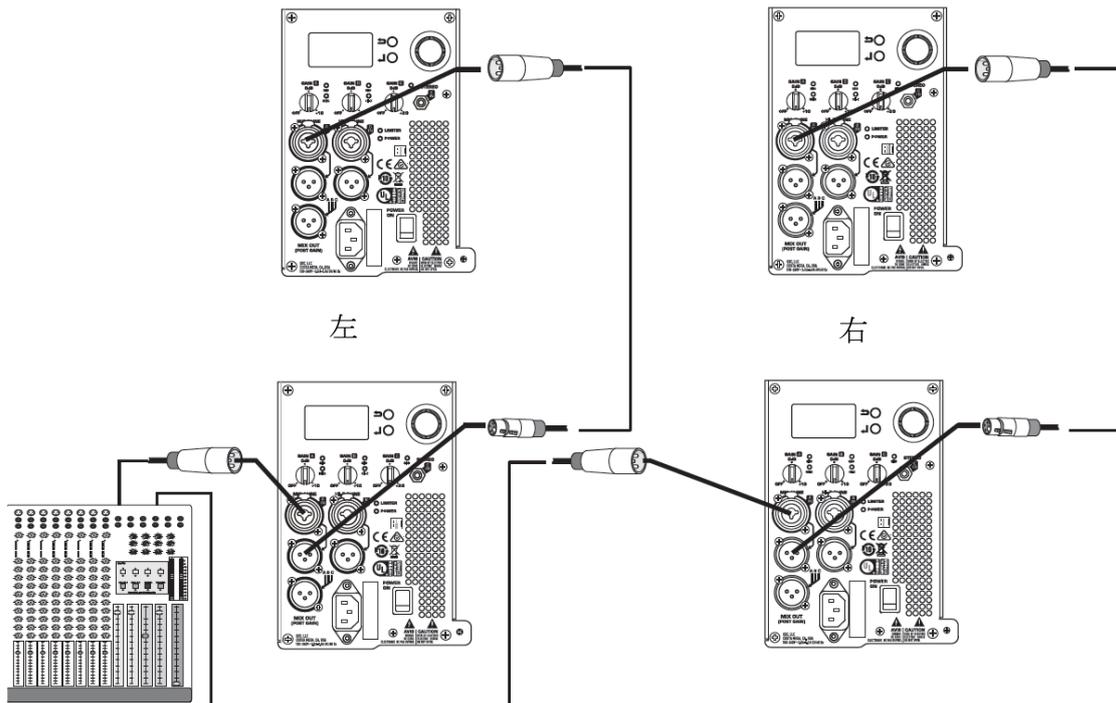
EQ2 (バンド2) 初期値	0.0 dB~-6.0 dB 0.0 dB	200 Hz~20.0 kHz 1.0 kHz	0.4~4.0 0.7
ロー・シェルビング・バンド 初期値	0.0 dB~-6.0 dB 0.0 dB	100 Hz~500 Hz 100 Hz	N/A
EQ IN/OUT	EQ アクティブ/バイパス		
RESET	EQ をリセットしてフラット (初期設定)		
SETTINGS ユーティリティー			
		モデル名の後ファームウェアバージョンを表示	
SAVE SCENES		ユーザーシーン 1-5 に現在の設定を保存	
RECALL SCENES		ファクトリー設定、またはユーザー設定を呼び出し	
LED		LED インジケータの表示選択	
CONTRAST		LCD ディスプレイのコントラストを設定	
FACTORY RESET		ファクトリー設定を初期値に戻しユーザー設定を クリア (元に戻せません)	

接続

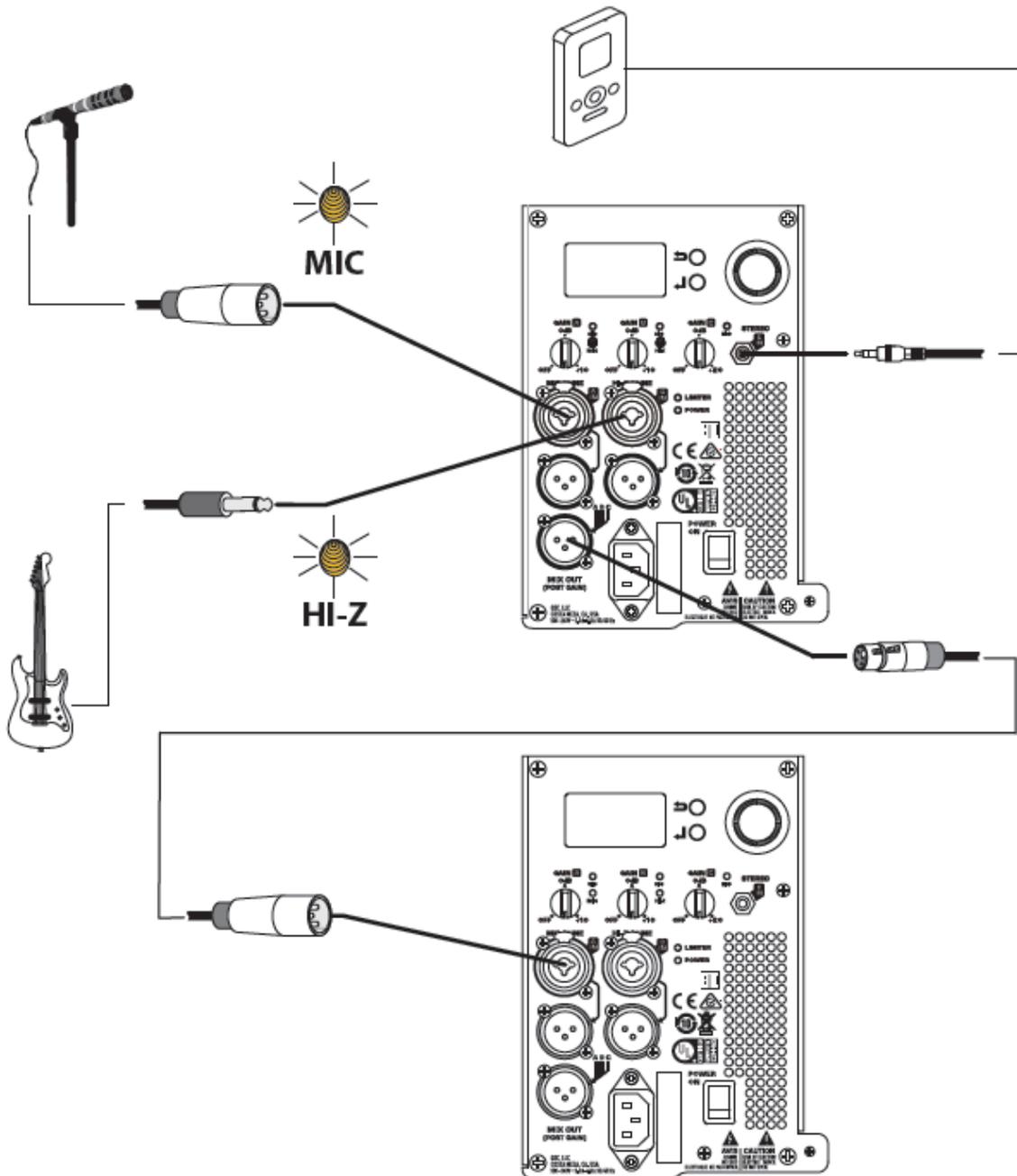
2台連結



ステレオ接続

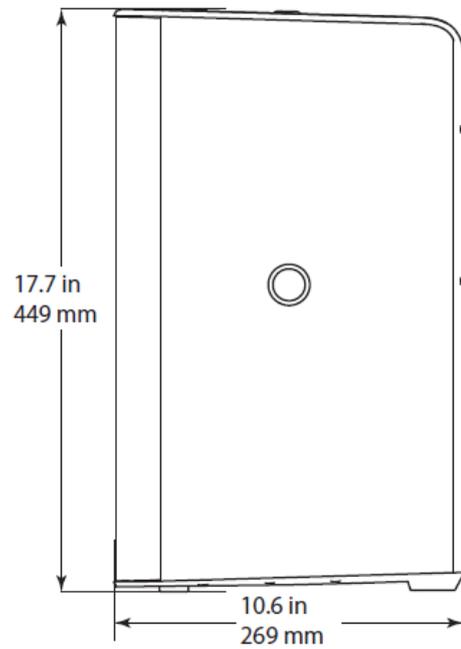
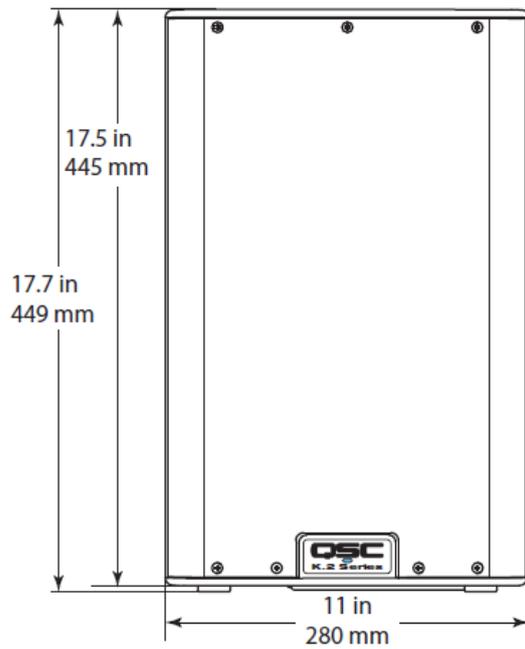
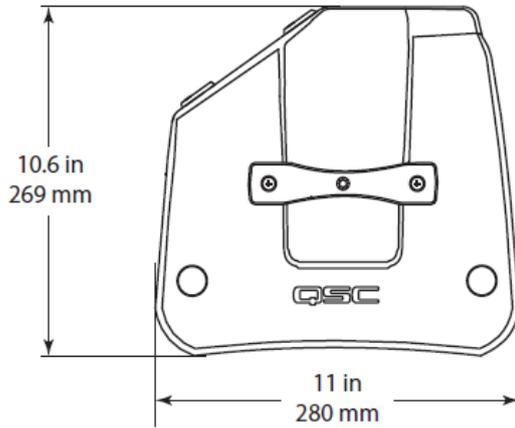


単体接続

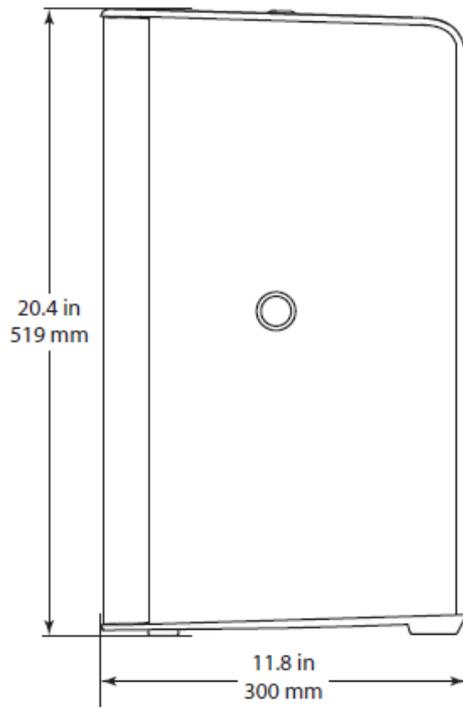
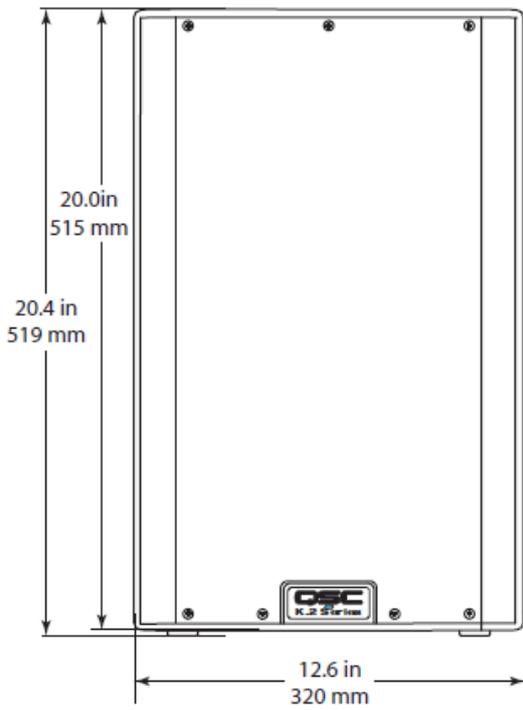
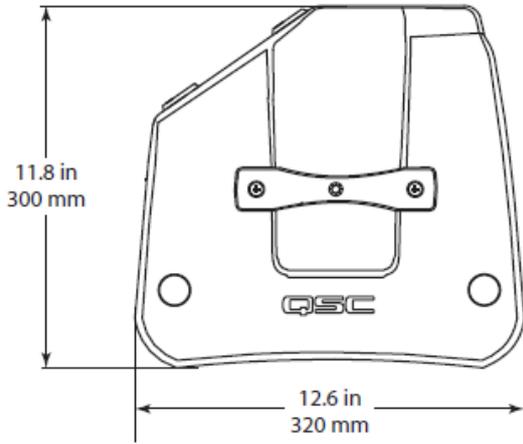


寸法

K8.2



K10.2



K12.2

